



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション
 コード番号 8194 URL http://www.lifecorp.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 清水 信次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部副本部長 兼 財務本部長 (氏名) 内田 良一 TEL 03-5807-5542
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年10月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	286,646	9.0	4,676	33.3	4,705	30.0	2,459	25.6
26年2月期第2四半期	262,996	1.6	3,506	12.0	3,620	16.8	1,958	18.2

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 2,391百万円 (10.0%) 26年2月期第2四半期 2,173百万円 (45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	49.41	—
26年2月期第2四半期	37.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	200,744	49,336	24.6	1,053.75
26年2月期	186,079	55,380	29.8	1,060.89

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 49,336百万円 26年2月期 55,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.50	—	12.50	25.00
27年2月期	—	12.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575,000	7.5	9,050	18.5	9,000	16.8	4,350	14.5	90.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年2月期2Q	53,450,800株	26年2月期	53,450,800株
27年2月期2Q	6,631,155株	26年2月期	1,248,754株
27年2月期2Q	49,774,062株	26年2月期2Q	52,410,941株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成27年2月期の個別業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575,000	7.4	8,900	22.4	4,300	21.2	89.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するも、個人消費は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減から徐々に回復傾向にあるものの、輸出や設備投資は力強さを欠き、また、海外経済も減速気味であるなど、不安要素も多く、景気の先行きは必ずしも楽観できない状況にあります。

流通業界におきましては、景気回復に伴う消費マインドの好転から一部に個人消費の高まりが見られるものの、消費税率引上げにより消費者の生活防衛意識は高まっており、購買行動はより複雑化してきております。このような環境の中で消費者対応を更に進化させていくことが求められており、企業間の競争はますます激しくなっています。また、小売業が直面する人手不足問題は深刻化の一途を辿っており、企業運営を圧迫し始めているだけでなく建築コスト等の上昇も伴い、新規出店戦略の見直しをも余儀なくされるケースも出始めております。

こうした厳しい経営環境下、当社グループは『お客様からも社会からも従業員からも「ライフっていいねえ!」と言われる会社の実現』に向けて、平成24年度よりスタートした「第四次中期3ヵ年計画」の最終年度として「出店」、「商品」、「顧客満足向上」、「次世代対応」及び「コスト適正化」の『5つの戦略』と『働き方の改革』における各種施策の積み残し課題を解決するとともに、平成27年度より新たにスタートする「第五次中期3ヵ年計画」の策定に向け、「スピード」と「連携」を意識し、全従業員が「能動的」に行動して「結果」を出すべく取り組んでおります。特に当第2四半期連結累計期間においては、新規出店戦略に加え、既存店舗の改装も積極的に実施することでお客様の利便性向上を図り、新たに店舗運営体制の強化を目指した副店長制度やパートナー教育体制の見直しを実施導入することで、従業員のやりがいを引き出す対策を講じながら、働き方の改革に繋げる戦略を推進しております。

当第2四半期連結累計期間に新規店舗として、3月に堺駅前店（大阪府）、4月にココネリ練馬駅前店（東京都）、ポンテポルタ千住店（東京都）、5月に東五反田店（東京都）、7月に錦糸町駅前店（東京都）、玉造店（大阪府）の6店舗を出店するとともに、既存店舗につきましても、仲宿店、平和台店、御殿山店、南千住店、南住吉店、豊里店、梅津店の7店舗を改装いたしました。

当社グループの業績につきましては、消費税率引上げの影響による落ち込みが想定より小さかったことや、新規店舗及び既存店舗の改装が寄与したことに加え、売上拡大・客数増加に向けた販売促進の各種施策により、営業収益は2,866億46百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。利益面につきましては、電気料金値上げによる経費増や、新規・改装店舗の償却費、一時経費の増加等がありましたが、諸コストの適正化により経費増の圧縮に努めた結果、営業利益は46億76百万円（前年同四半期比33.3%増）、経常利益は47億5百万円（前年同四半期比30.0%増）、四半期純利益は24億59百万円（前年同四半期比25.6%増）となりました。

部門別売上高は、生鮮食品部門が1,124億34百万円（前年同四半期比11.8%増）、一般食品部門1,209億64百万円（前年同四半期比9.0%増）、生活関連用品部門256億81百万円（前年同四半期比6.1%増）、衣料品部門143億94百万円（前年同四半期比1.1%減）、テナント部門52億15百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,007億円と前連結会計年度末に比べ146億64百万円増加いたしました。

流動資産は、560億55百万円と前連結会計年度末に比べ119億4百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金が前連結会計年度末に比べ135億70百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、1,446億88百万円と前連結会計年度末に比べ27億60百万円増加いたしました。これは主として減価償却後の有形固定資産が、前連結会計年度末に比べ28億44百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,514億7百万円と前連結会計年度末に比べ207億8百万円増加いたしました。これは主として買掛金が前連結会計年度末に比べ301億45百万円、流動負債その他が79億79百万円増加し一方、短期借入金及び長期借入金の合計が188億62百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、493億36百万円と前連結会計年度末に比べ60億44百万円減少いたしました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度末に比べ18億6百万円増加し一方、自己株式が77億82百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、223億98百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、476億24百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。これは主として当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日にて支払が保留となったこと等による仕入債務の増加が301億45百万円、未払金の増加が49億26百万円、また、非資金性損益項目である減価償却費が44億8百万円、税金等調整前四半期純利益が42億59百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、70億52百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。これは主として新規店舗及び既存店舗の改装による支出が60億97百万円、貸付けによる支出が12億2百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、270億1百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。これは主として長期借入れによる収入が70億円あったものの、短期借入金の純減少額及び長期借入金の返済による支出が258億62百万円、また、自己株式の取得による支出が77億82百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年9月17日に発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

なお、今後事業環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,928	22,498
売掛金	357	1,392
商品及び製品	21,072	20,368
原材料及び貯蔵品	106	102
その他	13,695	11,697
貸倒引当金	△8	△2
流動資産合計	44,151	56,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,031	60,417
土地	23,808	24,170
その他(純額)	14,580	15,676
有形固定資産合計	97,419	100,264
無形固定資産		
投資その他の資産	2,399	2,278
差入保証金	26,957	26,371
その他	15,188	15,815
貸倒引当金	△36	△41
投資その他の資産合計	42,109	42,145
固定資産合計	141,928	144,688
資産合計	186,079	200,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,988	61,134
短期借入金	30,964	10,464
1年内返済予定の長期借入金	10,102	10,135
未払法人税等	1,517	2,154
賞与引当金	1,956	2,141
販売促進引当金	2,081	2,250
その他	14,813	22,792
流動負債合計	92,422	111,072
固定負債		
長期借入金	20,354	21,959
退職給付引当金	4,524	4,486
役員退職慰労引当金	350	339
資産除去債務	3,175	3,305
その他	9,871	10,245
固定負債合計	38,276	40,335
負債合計	130,699	151,407

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	11,475	11,475
利益剰余金	35,605	37,412
自己株式	△2,134	△9,917
株主資本合計	54,950	48,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	658	590
土地再評価差額金	△229	△229
その他の包括利益累計額合計	429	361
純資産合計	55,380	49,336
負債純資産合計	186,079	200,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	255,612	278,691
売上原価	186,446	202,953
売上総利益	69,166	75,738
営業収入	7,383	7,954
営業総利益	76,550	83,692
販売費及び一般管理費	73,043	79,016
営業利益	3,506	4,676
営業外収益		
受取利息	105	104
受取配当金	123	65
その他	217	169
営業外収益合計	446	340
営業外費用		
支払利息	290	242
その他	42	67
営業外費用合計	333	310
経常利益	3,620	4,705
特別利益		
固定資産売却益	150	—
特別利益合計	150	—
特別損失		
減損損失	140	224
転貸損失	0	121
固定資産除却損	50	87
店舗閉鎖損失	135	10
その他	—	2
特別損失合計	327	446
税金等調整前四半期純利益	3,443	4,259
法人税、住民税及び事業税	1,357	1,928
法人税等調整額	128	△128
法人税等合計	1,485	1,800
少数株主損益調整前四半期純利益	1,958	2,459
四半期純利益	1,958	2,459

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,958	2,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	△67
その他の包括利益合計	214	△67
四半期包括利益	2,173	2,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,173	2,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,443	4,259
減価償却費	4,095	4,408
減損損失	140	224
賞与引当金の増減額 (△は減少)	192	184
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	244	169
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33	△37
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	△11
受取利息及び受取配当金	△229	△170
支払利息	290	242
固定資産売却損益 (△は益)	△150	2
固定資産除却損	50	87
売上債権の増減額 (△は増加)	1,733	△1,034
たな卸資産の増減額 (△は増加)	114	708
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,106	30,145
未払金の増減額 (△は減少)	3,547	4,926
その他	3,578	4,945
小計	43,199	49,051
利息及び配当金の受取額	178	108
利息の支払額	△285	△235
法人税等の支払額	△1,678	△1,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,412	47,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	△100
定期預金の払戻による収入	100	100
有形固定資産の取得による支出	△4,580	△6,097
有形固定資産の売却による収入	—	31
無形固定資産の取得による支出	△174	△212
投資有価証券の取得による支出	△161	△64
貸付けによる支出	△707	△1,202
差入保証金の差入による支出	△314	△400
差入保証金の回収による収入	398	473
その他	△50	419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,590	△7,052

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△22,286	△20,500
長期借入れによる収入	5,380	7,000
長期借入金の返済による支出	△5,173	△5,362
リース債務の返済による支出	△709	△705
配当金の支払額	△654	△651
自己株式の取得による支出	△0	△7,782
セール・アンド・リースバック取引による収入	1,000	1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,443	△27,001
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,379	13,570
現金及び現金同等物の期首残高	7,403	8,828
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,782	22,398

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、平成26年4月16日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として、自己株式の公開買付けを行うことを決議し、自己株式を取得しました。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式は7,782百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において9,917百万円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品を中心に生活関連用品及び衣料品等の販売を主体としたスーパーマーケットを経営する小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。